

# 化学療法プロトコール

申請日： 令和 5年5月10日 申請医師： 箱崎 将規  
診療科： 外科 癌腫： 食道がん  
実施区分： 入院

管理番号	C010011	レジメン名： FP+RT療法
1コース期間	4週	総コース数

備考：  
放射線療法との併用プロトコールである。・聴覚毒性(CDDP300mg/m<sup>2</sup>以上)、末梢神経障害、眼障害、嗅覚障害に注意。・間質性肺炎に注意。・CDDP投与前後の1~2Lの輸液投与と尿量(2~3L/日)の確保を行う。・CDDP:腎障害時の投与変更例Ccr 60~46(25%減量) 45~31(50%減量) 30≧(使用中止)

番号	薬剤名	基準投与量	投与量上限	規格	投与方法	投与スケジュール(day1等)
1	シスプラチン	70 mg/m <sup>2</sup>		自動	点滴	day1
2	5-FU	700 mg/m <sup>2</sup>		自動	点滴	day1~day4

備考：  
放射線療法と併用すること。抗がん剤はメインから、それ以外は側管から投与。

## 実施内容

<p>day1 処方 〈内服〉 臨時 〈4mg〉 テキサロニ錠4mg 2錠 朝1錠、昼1錠 ★化学療法翌日より服用 朝 昼 食後30分 3日</p> <p>注射 〈1〉 点滴 セシヨク(生食) 【100mL】 ●● 1瓶 ★プライミング・ウォッシュアウト用 ★バックスパイク使用</p> <p>〈2〉 点滴 セシヨク(生食) 《500mL》 1袋 ★側管① ☆2時間で点滴</p> <p>〈3〉 点滴 パロセトロン点滴静注パッグ 0.75mg/50mL「タイバ」 1袋 アロリス点滴静注235mg/10mL 1瓶 【H】 【6.6mg】 テキサト注射液 6.6mg/2mL 1瓶 【H】 テキサト注射液 3.3mg/1mL 1A ★側管② ☆30分で点滴</p> <p>〈4〉 点滴 硫酸Mg補正液2.46g/20mL 0.4管 セシヨク(生食) 《500mL》 1袋 ★側管③ ☆2時間で点滴</p> <p>〈5〉 点滴 シスプラチン 70 mg/m<sup>2</sup> セシヨク(生食) 《500mL》 1袋 ★全量500mLに調製：シスプラチン使用量分の生食を抜去 ★側管③終了後投与開始 ★メインルート① ☆2時間で点滴</p> <p>〈6〉 点滴 フルオロウラシル 700 mg/m<sup>2</sup> 生理食塩液パッグ「フソ」(1L/袋) 1袋 ★メインルート② ★24時間で点滴</p> <p>〈7〉 点滴 アロリス注20mg「NIG」(ラジックス) 1A セシヨク(生食) &lt;50mL&gt;◆ 1瓶 ★メインルート①終了後投与開始 ★側管④ ☆15分で点滴</p> <p>〈8〉 点滴 長期) フリンパラン注射液10mg(2mL) 1A セシヨク(生食) 《500mL》 1袋</p>	<p>★側管⑤ ☆2時間で点滴 〈9〉 点滴 セシヨク(生食) 《500mL》 1袋 ★側管⑥ ☆2時間で点滴</p> <p>day2 注射 〈1〉 点滴 フルオロウラシル 700 mg/m<sup>2</sup> 生理食塩液パッグ「フソ」(1L/袋) 1袋 ★24時間で点滴</p> <p>day3 注射 〈1〉 点滴 フルオロウラシル 700 mg/m<sup>2</sup> 生理食塩液パッグ「フソ」(1L/袋) 1袋 ★24時間で点滴</p> <p>day4 注射 〈1〉 点滴 フルオロウラシル 700 mg/m<sup>2</sup> 生理食塩液パッグ「フソ」(1L/袋) 1袋 ★24時間で点滴 〈2〉 点滴 セシヨク(生食) 【100mL】 ●● 1瓶 ★プライミング・ウォッシュアウト用 ★バックスパイク使用</p>
--	---